

2年次 スペースデザイン専攻 [専門課程]

前期は、製図や講義の授業を通して、スペースデザインの基礎力を身に付けます。設計課題では、小規模の空間設計を通して、基礎的な空間デザインを学びます。後期は、社会や都市の問題と関係する課題が増え、より深く“考える”ことが要求されます。また、CADやモデルといった技術を向上する授業も始まります。

	前期	後期
共通理論	デザインという営み、およびそれと深い関わりをもつ思想、社会、文化、歴史など、デザイナーとして活躍するうえで必要な知識を学びます。	文化論 日本の社会において歴史を通じて培われてきたデザイン文化や、それを支えてきた風土や身体のあり方を学ぶ。 メディア論 いまこころは異なる地域・時期での使い方や、デザインやアートの実験的な利用を視野に入れて、創造的なメディア利用のかたちを探る。 人類学 個別の地域を超えて複雑に影響し合う、地球規模の文明システムの現在と、今後あるべきデザインを学ぶ。 認知科学 私たちの身体のあり方や、認知や感覚のメカニズムを解き明かす工学的な視点を学び、デザインへの応用を探る。
英会話	将来のデザイン活動に役立つ、英会話能力を身につけます。	英会話II 将来のデザイン活動に役立つ英会話能力を身につけ、同時に発想を豊かにする言語への意識を高める。
日本語会話	将来のデザイン活動に役立つ、日本語会話能力を身につけます。 ※履修は留学生に限りません。	日本語会話II 学校生活や就職活動に役立つ日本語能力を身につけ、日本語によるコミュニケーションへの理解を深める。
専門講義	デザインと技術、社会、文化の関心の歴史的な変遷を概観しつつ、モノ、空間、建築、都市、環境の関係性をめぐるさまざまなデザインを学びます。	インテリアデザイン概論 ① 近代以降、特に戦後から現代における日本のインテリアデザインの歴史を学び、インテリアの基礎知識を学ぶ。 建築・都市概論 ① 現代までの世界の代表的な建築や都市計画とその理論を学びながら、都市と空間デザインの歴史的関係を学ぶ。 エレメントデザイン概論 ① 近代以降の世界の代表的なエレメントデザイン(家具や照明など)の歴史を学ぶ。 現代建築論 ① 現代建築の歴史を学びながら、新しい建築のあり方や現代社会と建築デザインとの関係を学ぶ。
技術	デザインプロセスを構成する個々の技術を、その意義や活用方法を認識しながら、具体的な作業を通して身につけます。	ドローイング ① 建築の施工プロセスを学びながら、手描きによる製図を通して、インテリア、建築製図の知識や技術を身につけ、建築構法の基礎を学ぶ。 モデル ① 建築物を含め身の回りにある構造物に作用する「力」について、模型を制作して学ぶ。 インテリアCADII ① 2D CADの基礎を学びながら、エレメント、そしてインテリア・建築デザインをCADでどのように表現するかを学ぶ。
デザイン	空間を構成するエレメント、エレメントにより形づくられるインテリア、そして住環境の3つを主軸とし、感性、技術、理論を総動員して一連のデザインプロセスに取り組みます。リサーチから発想、構想、制作、プレゼンテーションまで、ひとつ一つの過程を大切にしながら、主体的、計画的にデザインを展開する能力を身につけます。	エレメントデザインIIA ① 空間における複数のエレメントを実制作することを通して、エレメント間に発生する「モノ」と「空間」の関係を学ぶ。 インテリアデザインIIA ① 小さな空間デザインを通して、インテリアデザインの基本とそのプレゼンテーションを身につける。 住環境デザインIIA ① 歴史上の住宅デザインを学びながら、住空間における行為・行動と空間との関係を考察し、住宅設計の基本を学ぶ。 エレメントデザインIIB ① 身の回りの家具のあり方を再考察することを通し、新たなエレメントデザインの可能性を設計課題を通して学ぶ。 インテリアデザインIIB ① 商空間を中心に、エレメント～インテリア～建築の関係を設計課題を通して学ぶ。 住環境デザインIIB ① 戦後日本の住宅建築史の研究を通して、都市と住環境の関係を分析し、新たな住宅のあり方を追求する。

3年次 スペースデザイン専攻 [専門課程]

設計課題では、より条件が複雑化し、規模も大きくなります。と同時に、デザインの本質を改めて見直す課題が増えます。誰のための、何のためのデザインか。さまざまな関係性を整理し、社会的な意味を掘り下げながら、スペースデザインの可能性を追究します。またCADの授業では、三次元CGで表現する力をつけます。

	前期	後期
共通理論	デザインという営み、およびそれと深い関わりをもつ思想、社会、文化、歴史など、デザイナーとして活動するうえで必要な知識を学びます。	デザインの視点A ① 情報技術の活用、企業経営への導入、販売・流通との連携、持続可能性やユニバーサル社会の実現など、さまざまな視点や問題意識からの取り組みを学び、社会で実際に機能しうるデザインのあり方を考える。 デザインの視点B ① 情報技術の活用、企業経営への導入、販売・流通との連携、持続可能性やユニバーサル社会の実現など、さまざまな視点や問題意識からの取り組みを学び、社会で実際に機能しうるデザインのあり方を考える。 デザインの課題 伝統からの解放と再活用、自由と平等の両立、新しさの追求と美しさの模索など、近代以降の社会でデザインが求められてきた役割や機能、デザイナーが長らく直面してきた根本問題について学ぶ。 デザイン法規/デザイン・リテラシー 知的財産権の保護や活用、生産・創造過程におけるコミュニケーションなど、デザイン活動に欠かせない契約・調査・伝達などについての知識や能力を身につける。
専門講義	デザインと技術、社会、文化の関心の歴史的な変遷を概観しつつ、モノ、空間、建築、都市、環境の関係性をめぐるさまざまなデザインを学びます。	空間計画論 ① 建築物の空間における照明デザインなど光環境の講義を中心に、設備を含めた内装計画からパブリックアートまで、実例を通して学ぶ。 建築法規と計画 建築の設計・監理から施工、そして運用、維持に必要な建築基準法の知識を実例を通して学ぶ。 スペースメディア論III スペースデザインとメディア(表現媒体)との関わりを歴史的な事例を通して、理論的に学ぶ。 スペースデザイン特論 スペースデザイン分野に関わる様々な講師を毎回招聘し、デザインにおける幅広い視点を学ぶ。
技術	デザインプロセスを構成する個々の技術を、その意義や活用方法を認識しながら、具体的な作業を通して身につけます。	インテリアCADIII ① 3D CGの制作工程を学びながら、クライアントを意識したプレゼンテーションのあり方を習得する。 プレゼンテーション ① ポートフォリオの制作指導を中心に課題作品をどのようにまとめるかを学ぶ。
デザイン	人間・社会・自然とデザインの関係を学び、スペースデザインの主要テーマである、モノからコトへのデザインに焦点をあてます。デザインの日常性、非日常性とは何かを深く考え、「今日的デザイン」が目指す方向性を模索します。	インテリアデザインIIIA ① 商業空間におけるインテリア/建築デザインを建築材料との関係を通して学ぶ。 <div style="text-align: center;">— 必修選択 —</div> エレメントデザインIIIA ① 人間とモノとの関係を再考することで、機能性や利便性を越えたエレメントを設計課題を通して学ぶ。 住環境デザインIIIA ① 集合住宅の設計を通して、現代都市における住環境の新しいあり方を設計課題を通して学ぶ。
卒業制作	少人数によるクラス編成となり、教員の指導を受けながら、デザインの調査、発案、制作を自ら進めます。3年間の学修の集大成として、長期プロジェクトを展開します。 *2ゼミから1つを選択	卒業制作 ① 比護結子ゼミ 比護結子、ikmo代表(建築家) 「空間デザイン」 藤森泰司+篠崎隆ゼミ 藤森泰司、藤森泰司アトリエ代表(家具デザイナー)、篠崎隆、アスタリスクスタジオ代表(建築家) 「エレメントデザイン」
その他		校外見学・校外実習(年間) 通常授業以外の必修科目として、学生各自が自主的に行うもの。デザインに関する展覧会やイベント等を見学し、そのレポート提出をする「校外見学」と、デザイン関連の公募・実務などへ参加し、そのレポート提出をする「校外実習」がある。